

消防かわら版

秋号

火のしまつ 君がしなくて 誰がする



『消防かわら版』は、今回から『広報たはら』への掲載となりました。掲載時期は、これまでのかわら版と同じ6・9・12・3月の年4回です。今後も市民の皆さんからのご意見、ご質問などにお応えしていきますので、どうぞ、よろしくお願ひします。



消太の俺に聞け!

Q 秋のハチ(蜂)は攻撃的になると聞きますが、刺された場合どうすればいいのですか?

A ハチによる事故は秋に多く発生します。ハチに刺されると、軽い場

! ハチに刺されないために

合は、腫れや痛み程度で済みます。しかし、子どもや過去にハチに刺されたことがある人は、蜂毒アレルギーを起こすことがあり、じんましん、呼吸困難・腹痛・嘔吐・下痢・血圧低下などを発症し、最悪の場合は死に至ることもあります。



ハチの巣にむやみに近づかない。臭いの強い化粧品・香水はハチを刺激するので注意する。黒い色に対して攻撃性が強くなるので、身に付けるものは黒い色のものを避け、肌は露出しない。ハチが近づいてきたら、頭を隠すように姿勢を低くする。

! もしもハチに刺されたら

近くに巣がある可能性が高いので、できるだけ現場から離れる。刺された部位を調べ、毒針が刺さっていることが確認できたら、毒の入った袋をつぶさないように取り除く。患部に着いた汚れを水道水で洗い流す。痛みや腫れがあるときは、患部を冷やす。

体調がおかしいと感じたら、すぐに医療機関で受診するか、119番通報で救急車を呼んでください。

消太からお願いします

市 内には、火災が発生したとき消火のために使用する消火栓や防火水槽があります。これらは皆さんの地域を守る大切な水利です。市では災害時に使えるよう、消防署や消防団が点検を行っています。

消火栓や防火水槽の周囲に車や物があると、消防車両が近づくことができません。いつ発生するか分からない火災に対応できるよう、消火

栓や防火水槽の付近に車を駐車したり、物を置いたりすることは、絶対にやめてください。



また、写真の防火水槽のように、水が見えるものがあります。この上で子どもたちが遊んでいる姿を見かけることがあります。防火水槽はとても深く作られていて、大変危険です。子どもにとっては、面白そうな遊び場に見えるかもしれませんが、家族みんなで、家の近くの水が見える防火水槽を調べて、「遊ぶと危ないよ」と教えてください。また、遊んでいる子どもを見かけたら、注意するようご協力をお願いします。田原市では、順次水が見える防火水槽にふたをしたり、地下式防火水槽へ移行したりしています。